

国際評価基準（IVS）セミナーを開催しました。

去る7月26日(火)、東京港区の日本消防会館において、IVSとIFRSの最新動向をテーマとして、先般の不動産鑑定評価基準の改正以降の動きについて、会員の皆様に情報提供することをねらいとして、標題セミナーを開催いたしました。

国際評価基準（International Valuation Standards）は、主として財務報告のための資産評価の基準として、欧州を始めとする多くの国々で利用されており、同基準の策定主体である国際評価基準審議会（International Valuation Standards Council）では、現在、国際財務報告基準（IFRS：International Financial Reporting Standards）を策定する国際会計基準審議会（IASB：International Accounting Standards Board）と連携するとともに、IVSの国際的な普及と金融商品・事業・無形財産権などの不動産以外の資産を含む評価基準の見直しを推進しているところです。

セミナーでは、岸上恵子氏（公認会計士/日本公認会計士協会常務理事）による「IFRSの適用状況」、山田辰己氏（公認会計士/IVSC評議員）による「国際評価基準審議会（IVSC）の最新動向」、浅野美穂鑑定評価基準委員会目的別評価基準検討小委員長による「財務諸表に関連する不動産評価の現状と課題」、大久保照代国際委員会専門委員による「鑑定評価実務におけるIVSへの対応」をテーマに充実した講義が行われました。

今回のセミナーは、世界におけるIFRSの適用拡大の現状とIVSCの組織改革及びIVSの改訂の動向、不動産動産鑑定評価実務におけるIVSの対応等、IFRSとIVSとの密接な関連性と私たち不動産鑑定士に求められる役割についての理解を深めることができる有意義な機会となりました。



司会の山下委員長



岸上恵子先生



山田辰己先生



浅野美穂先生



大久保照代先生